

新型インフルエンザ対応総合訓練の実施結果について

【背景】

我が国では、新型インフルエンザの発生に備え、「新型インフルエンザ対策行動計画」(平成17年11月 鳥インフルエンザ等に関する関係省庁対策会議(関係省庁申合せ))及び「新型インフルエンザ対策ガイドライン(フェーズ4以降)」(平成19年3月 厚生労働省新型インフルエンザ専門家会議)をまとめ、新型インフルエンザ発生時における政府としての具体的な対応方針の検討やマニュアルの整備、抗インフルエンザウイルス薬の備蓄やワクチンの開発等の準備を進めているところである。

また、新型インフルエンザ発生を想定し、平成18年9月と平成19年2月に訓練を実施した。2回の訓練を通じ、新型インフルエンザ対策の妥当性や手順を確認し、関係省庁・組織の連携を強化することができた。

これまでの訓練を踏まえ、さらなる対策の推進を図ることを目的として、平成19年11月16日に、官房長官を訓練統裁官とする新型インフルエンザ対応総合訓練を実施した。

【実施目的】

1. 関係省庁間及び関係省庁と地方公共団体間との連絡・情報共有体制及び意思決定過程の確認。
2. 関係省庁・機関及び地方公共団体担当者の対応能力の向上。
3. 対応手順や施策内容の確認及びそれらの関係者への周知。

【訓練の範囲】

新型インフルエンザ発生時に想定される具体的な事態に対処するための施策内容を状況の変化に応じて検討・確認する机上訓練を行うとともに、千葉県と成田空港検疫所において、患者の検疫、搬送や発生時の調査等の実働訓練を実施した。

また、今回の訓練では、新型インフルエンザ発生の初期から国内大流行の段階まで、すなわち、行動計画におけるフェーズ4(新型インフルエンザの発生)から6(急速に感染が拡大)までの範囲における状況を想定した。

【訓練の参加者】

政府レベルでは関係各省庁(新型インフルエンザ及び鳥インフルエンザに関する関係省庁対策会議の構成員である20府省庁)及び成田空港検疫所が、地方公共団体としては、千葉県が参加し、また、実働訓練に際しては千葉県下の医療機関(成田赤十字病院及び成田市急病診療所)及び消防機関(成田市消防本部)が参加した。

【訓練の結果】

今回の訓練はフェーズ 6 までを想定している点と、検疫所が参加した点が前回の訓練と異なる。机上訓練及び実動訓練ともに特段の混乱なく終了した。机上訓練及び実動訓練の状況については以下のとおり。

1. 机上訓練

訓練開始に当たっては、新型インフルエンザ及び鳥インフルエンザに関する関係省庁対策会議にて訓練開始が宣言された。

机上訓練では、状況の進展によってシナリオを6つに分け、それぞれのシナリオに応じた訓練課題を、内閣官房から訓練参加者に対して1時間おきに送付した。回答は概ね規定時間内(2時間)に返信された。

訓練終了時には、同会議幹事会にて訓練の状況に関する意見交換が行われた。(シナリオ、課題及び回答については添付資料1参照)

2. 実動訓練

千葉県においては、シナリオに合わせて対策本部の設置、患者の搬送、指定医療機関での診療及び発熱外来の設置について実動訓練を実施し、発生時の対応の検討・確認を行った。また、厚生労働省と千葉県を繋いでテレビ会議も実施した。

参観者は、中央府省庁が4名、都道府県及び政令市が119名(56自治体)、千葉県下の市町村が17名(13自治体)、消防機関及び医療関係者等が6名であった。

成田空港検疫所においては、シナリオに合わせて対策本部の設置、実際の航空機を使用し、機内検疫での有症者に対する問診、検体採取、搬送、濃厚接触者及び同乗者に対する健康調査、航空機内の消毒、検体の検査等についての実動訓練を実施し、検証を行った。

参観者は、国際機関が1名、中央府省庁が6名、自治体が5名、成田空港内関係機関が37名、他検疫所職員が24名であった。

(参観者に実施したアンケートの結果は添付資料2参照)

千葉県と成田空港検疫所における訓練の様子は、随時全国の地方自治体へ配信された。

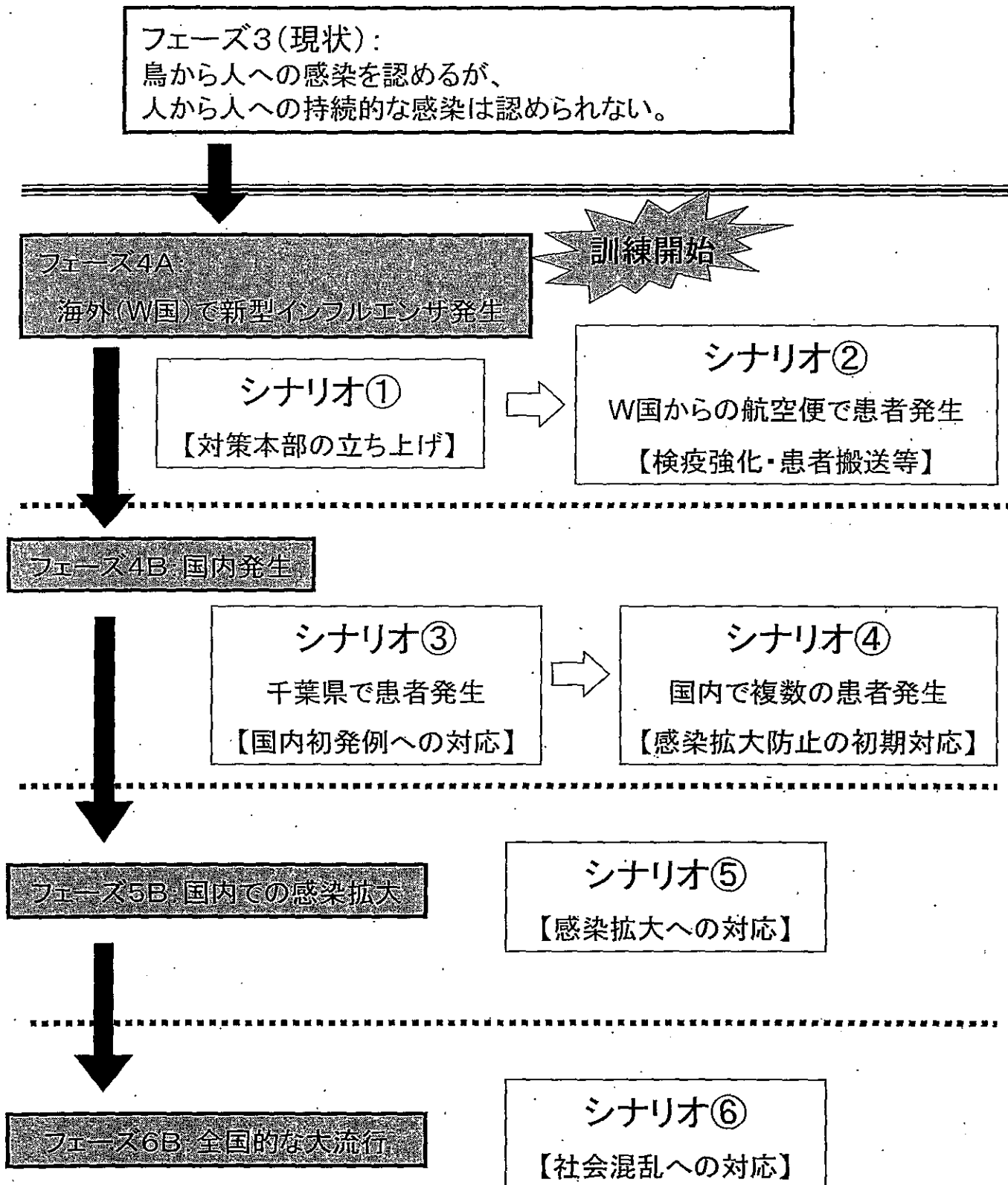
【今後の対応】

訓練課題に対応した内閣官房及び各省庁並びに千葉県においては、今回の訓練における回答及び対応について検証し、新型インフルエンザ発生時にとるべき対応について一層の検討を行うこととする。

具体的には、緊急時に円滑な対応が可能となるよう、次の事項について更に検討を行うこととしている。

- ・訓練シナリオの工夫・改善(異なる発生状況、個別課題の掘り下げ等)
- ・各省庁のすべての組織における意識の向上、各省庁業務継続計画の整備・充実
- ・本省のみならず、支分部局、地方公共団体、学校、民間企業等第一線の現場への情報伝達及び現場における関係機関の連携の在り方
- ・各省庁内及び省庁横断的な行動計画やマニュアルの整備・充実
- ・国際間の交通や出入国の制限、検疫の集約化等の在り方(タイミング、手順等)
- ・ワクチンの接種や抗インフルエンザ薬の流通の在り方
- ・新型インフルエンザ発生時における国民への情報提供の在り方

インフルエンザ訓練の流れ



新型インフルエンザ総合訓練概要(平成19年11月16日)

